

流域治水の自分事化

令和6年3月14日
第10回 阿賀野川大規模氾濫に関する減災対策協議会
第5回 阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議

1) 令和5年度の取組フォローアップ

阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議(新潟市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

教育活動

- 自主防災組織や任意団体からの依頼による出前講座等を実施(通年)【防災】

訓練活動

- 自主防災組織の活動支援(通年)【防災】

水防活動の支援

- 水防訓練の実施(5/28)【危機】
- 重要水防箇所巡視への参加(6/8)【危機】



水災害対策の支援

計画策定

- 要配慮者利用施設管理者への避難確保計画の講習会の実施(10/2)【危機】
- 要配慮者施設への避難確保計画の作成依頼(年1回)【危機】



リスク情報等の提供

- SNSを通じた気象・防災情報の提供(通年)【危機】
- 緊急速報メールやLアラートを活用して市民へ情報提供(通年)【危機】
- 総合ハザードマップ、洪水・土砂災害等ハザードマップの周知(通年)【防災・危機】

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議(五泉市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる(自分のためにも、みんなのためにも)

流域治水の広報

- イベントにおいて災害に関する啓発活動を実施(来場者500人以上)



- 出水期前(6月)に広報誌で特集記事を掲載し、意識醸成



教育活動

- 町内会や自主防災組織等へのマイ・タイムライン作成講習など出前講座を実施(6回、152人)
★マイ・タイムライン作成率100%町内会を実現
- 小中学校への防災学習等の開催(3回、182人)

- 防災リーダー養成講座の開催(1回、12人)



- 講師を依頼し、地域特性を踏まえた災害対策等を目的とした地域防災研修の開催(2回、32人)



訓練活動

- 水防訓練の実施(消防団による水防工法訓練)(1回、233人)



- 住民参加型の地域防災訓練を実施(1回、30団体、452人)



計画策定

- 防災会議を開催し、地域防災計画の見直し・更新(五泉市)
- 雪害予防対策会議を開催し、関係機関等との連携強化(五泉市)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議(阿賀野市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 洪水対応演習、災害対策車両等訓練、重要水防箇所の巡視等へ参加し関係機関との連携を強化

流域治水の広報

- 広報誌で水害・土砂災害に関する啓発活動を実施(3回)



教育活動

- 小中学校で防災教育(講座)を実施(3回、210人)
- 防災塾における自治会等の防災講話(6回、150人)
- 新潟県と一般財団法人地域社会ライフプラン協会と共催で自主防災シンポジウムを開催



訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施(京ヶ瀬地区、1回、250人)
- 防災塾における自治会等の避難訓練(2回、80人)
- 消防団による水防工法講習を実施(1回、150人)

水防活動の支援

- 関係機関、水防団、消防団、防災隊等との連絡体制を確認
- 出水時前に発電機を古川樋門付近に設置し稼働の確認を実施

リスク情報等の提供

- 阿賀野川氾濫浸水区域の自治会へまるごとまちごとハザードマップを設置(千唐仁、南郷砂山自治会)
- 電柱へ洪水ハザードマークの補修

- 安全安心メールやLINEについて、広報誌やホームページへの記事掲載、防災塾等におけるチラシの配布

計画策定

- 広報でのマイ・タイムラインの説明、周知(8月 土砂災害、9月 風水害)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議(新発田市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる(自分のためにも、みんなのためにも)

流域治水の広報

- 広報誌で水害・土砂災害に関する啓発活動を実施(今年度3回実施)



教育活動

- 自主防災組織等育成強化のため、職員派遣を行い、講座を実施(今年度21回実施)
- 市内小学校などで防災出前授業を実施。(今年度3校で実施)
- 自主防災組織の強化を目的に自主防災シンポジウムを開催(参加数202名)



リスク情報等の提供

- 防災情報の提供手段として、LINEを追加

訓練活動

- 総合防災訓練に合わせ、住民参加型の避難訓練を実施(今年度荒天のため中止)
- 地域住民が参加した避難場所への避難訓練の実施(自治会主動で実施)

水災害対策の支援

- 希望する自治会・自主防災組織への土のうの事前配布(7団体315個)
- 自主防災組織設立後、資機材整備や活動に対して補助金を支給(今年度13団体)

計画策定

- 避難確保計画未作成の要配慮者利用施設への作成呼びかけ

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議(阿賀町)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

広報活動

○広報誌による水害等に関する啓発活動を実施



水害に関する周知活動

○水害に関するパネル展を開催



教育活動

○地域、民間との連携による小中学校を対象とした防災学習(2回、70人)



リスク情報等の提供

○小規模河川を対象とした洪水ハザードマップを作成・公表



○防災情報など配信のための阿賀町アプリを整備



水防活動の支援

○重要水防箇所及び水害経験のある行政区に対し、水防資機材等を事前配備

訓練活動

○消防団及び関係機関による水防訓練を実施(1回、76人)



アプリ活用支援

○阿賀町アプリの普及啓発も含め、スマホ教室を開催(20回、100人)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議(東北電力株)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

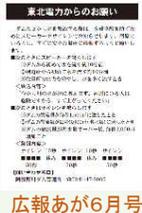
○ダム放流時の通知通報の方法・連絡体制などの確認と意見交換会を実施(5月30日開催: 16団体、計27名出席)



○阿賀野川洪水対応演習に参加(5月12日)
○阿賀野川重要水防箇所等の巡視に参加(6月8日: 満願寺管内、1名参加)

流域治水の広報

○広報誌でダム放流に関する啓発活動を実施



広報あが6月号

広報あがの8月号

○ポスターでダム放流に関する啓発活動を実施(7月: 市役所、小・中学校他計19施設に配布)



リスク情報等の提供

○ホームページにおける河川水位、ダム情報等の提供



- ・本サービスの情報は、参考情報です。
- ・本サービスの情報を利用することで発生した、生命、身体、財産上の損失・損害について、当社は一切責任を負いません。
- ・本サービスの情報を第三者に譲渡、転売、提供することはできません。
- ・本サービスの情報は、予告なく変更・追加・中止することがあります。
- ・本サービスへのアクセスが集中により、情報が表示されないことがあります。
- ・当システムは、メンテナンス等で予告なく停止することがあります。

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議(新潟県土木部関係)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 小学校の早出川ダム見学会の機会を利用しダムの役割や効果等を説明
【7校 参加者約300人】



- 自治体、消防団等と連携した洪水対応演習、災害対策車両等訓練、重要水防箇所点検等を実施
【関係機関と合同で実施】



教育活動

- 地域を流れる河川への理解を深めてもらうため小学校への出前講座の開催
【3校 参加者約190人】



リスク情報等の提供

- 雨量、水位、土砂災害危険度、土砂災害警戒区域等に関する情報の公開
【通年】
- ホームページにおける河川水位、ダム情報等の提供
【通年】
- 防災アプリの普及啓発による避難に必要な情報の周知
【通年】
- 河川監視カメラによる情報提供
【通年】

計画策定

- 要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成促進(施設管理者向けの講習会を開催)
【1自治体:新潟市】



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議(阿賀野川河川事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 自治体と連携した洪水対応演習を実施(4月)
- 重要水防箇所の合同巡視により、自治体・消防団との連携を強化(5月)
- 水門等操作員研修会を開催



流域治水の広報

- 管内で「水災害から、みんなの命を守る! パネル展」を実施(7箇所巡回、6~10月)
- 土砂災害防止月間パネル展示を実施(4箇所、6月)
- 「東区 防災・安心安全フェスタ」にてパネルを展示(10月)



教育活動

- 自治会等からの依頼による出前講座の実施(3回、47人)
- 小学校への防災学習、出前講座の実施(4回、188人)



訓練活動

- 水防技術講習会への参加
- 自治体水防・防災訓練への参加



水防活動の支援

- 出水期前の水防資機材の整備

リスク情報等の提供

- まるごとまちごとハザードマップの設置支援(2地区)
- 簡易河川カメラ、管内CCTV映像による情報提供
- 雨量、水位に関する情報の公開

計画策定

- 流域タイムラインの策定



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

2) 令和6年度の取組計画・ロードマップ

阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議

計画:「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和6年度取組計画

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- ダム放流時の通知通報の方法・連絡体制などの確認と意見交換を実施(東北電力、1回)
- 自治体、消防団等と連携した洪水対応演習、災害対策車両等訓練、重要水防箇所の点検等を実施(新潟市・五泉市・阿賀野市・阿賀町・東北電力(株)・新潟県・阿賀野川河川・JR東日本)
- 重要水防箇所での水防活動に関して河川管理者と自治体の連携を強化(新潟市・五泉市・阿賀野市・阿賀町・阿賀野川河川)
- 樋門・樋管、水門等の操作員との連携を強化(新潟市・五泉市・阿賀野市・阿賀町・新潟県・阿賀野川河川)
- 社会科見学等の機会を利用し、ダム、排水機場、砂防堰堤等の役割や効果、必要性を説明(新潟県・阿賀野川河川)

教育活動

- 町内会や自主防災組織等からの依頼による出前講座の実施(新潟市・五泉市・阿賀野市・新発田市・阿賀町・阿賀野川河川、150人)
- 小中学校への防災教育、出前授業の実施(五泉市・阿賀野市・新発田市・阿賀町・新潟県・気象台・阿賀野川河川、300人)
- 防災リーダー養成講座、地域防災訓練の実施(五泉市・新発田市、100人)
- ニーズに応じた「田んぼダム」説明会(北陸農政局)

訓練活動

- 自主防災組織の活動支援(新潟市・阿賀町)
- 消防団による水防工法訓練(五泉市・阿賀町・阿賀野川河川、2回、370人)
- 住民参加型の地域防災訓練(五泉市・阿賀野市・新発田市・阿賀町、1000人)
- 自治会主動の避難訓練(阿賀野市・新発田市、100人)

水防活動の支援

- 水防団、消防団等との連絡体制の強化(新潟市・阿賀野市・阿賀町・気象台)
- 出水期前の水防資機材等の点検(阿賀野市・阿賀野川河川)

流域治水の広報

- 広報誌や防災イベント等で水害・土砂災害に関する啓発活動を実施(五泉市・阿賀野市・新発田市・阿賀町・阿賀野川河川)
- 広報誌でダム放流に関する啓発活動を実施(東北電力(株)、1回)
- ポスターでダム放流に関する啓発活動を実施(東北電力(株)、1回)
- 上流域と連携した広報活動を実施(阿賀野川河川)

リスク情報等の提供

- まるごとまちごとハザードマップの設置(阿賀野市・阿賀野川河川)
- 内外水一体型リスクマップの公表(阿賀野川河川、1地区)
- 浸水想定区域、土砂災害計画区域等の公表(新潟県)
- 洪水ハザードマップの更新、内水ハザードマップの作成・公表(新潟市・阿賀町)
- 各種ハザードマップの周知、住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組(新潟市・五泉市・阿賀町)
- メール、SNS、Lアラート等を利用した住民への防災情報等の提供(新潟市・五泉市・阿賀野市・新発田市・阿賀町・阿賀野川河川)
- 防災アプリの普及啓発による避難に必要な情報の周知(阿賀町・新潟県)
- 防災メール等の利用者増加に向けた周知活動(阿賀野市・新発田市・阿賀町)
- 避難場所や経路等に関する情報の周知(気象・防災情報の提供)(五泉市)

- 河川監視カメラによる情報提供(五泉市・新潟県・阿賀野川河川)
- 道路管理用カメラなどを用いた内水の鹹水状況等の情報取得方法の検討・検証(新潟市)
- 気象情報の発表・充実、予測精度の向上(気象台)
- キキクル(危険度分布)の改善(気象台)
- 雨量、水位、土砂災害危険度、土砂災害警戒区域等に関する情報の公開(新潟県・阿賀野川河川)
- ホームページにおける河川水位、ダム情報等の提供(阿賀町・東北電力(株)・新潟県・阿賀野川河川)

水災害対策の支援

- 雨水浸透ます・貯留タンク設置への助成金交付(新潟市)
- 自主防災組織設立後、資機材整備や活動等に対し補助金を支給(新発田市)
- 希望する市民への土のうの事前配布(新発田市・阿賀町)

計画策定

- 要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成促進(新潟市・新発田市・阿賀町・新潟県)
- 避難確保計画を策定した要配慮者利用施設等に対する避難訓練の支援(阿賀野市・阿賀町)
- マイ・タイムラインの作成および住民への周知(阿賀野市・新発田市)
- 地域防災計画の見直し・更新の作成促進(新潟市・新発田市・五泉市・阿賀町・気象台)
- 流域タイムラインの策定・運用(新潟市・五泉市・阿賀野市・新発田市・新潟県・気象台・阿賀野川河川)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>①知る機会を増やす</p> <p>◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>広報誌や防災イベント等で水害・土砂災害の啓発活動を実施（五泉市・阿賀野市・新発田市・阿賀町・阿賀野川河川）</p>	<p>● 広報誌でダム放流に関する啓発活動を実施（東北電力(株)）</p> <p>● ポスターでダム放流に関する啓発活動を実施（東北電力(株)）</p>		
<p>◎連携活動 地域 個人 </p>	<p>● ダム放流時の通知通報の方法・連絡体制などの確認と意見交換を実施（東北電力(株)）</p>	<p>自治体、消防団等と連携した洪水対応演習、災害対策車両等訓練、重要水防箇所等の点検等を実施（新潟市・五泉市・阿賀野市・阿賀町・東北電力(株)・新潟県・阿賀野川河川・JR東日本）</p> <p>重要水防箇所での水防活動に関して河川管理者と自治体の連携を強化（新潟市・五泉市・阿賀野市・阿賀町・阿賀野川河川）</p>	<p>樋門・樋管、水門等の開閉調整を実施する操作員との連携を強化（新潟市・五泉市・阿賀野市・阿賀町・新潟県・阿賀野川河川）</p>	<p>社会科見学等の機会を利用し、ダム、排水機場、砂防堰堤等の役割や効果、必要性を説明（新潟県・阿賀野川河川）</p>

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>②自分事と捉えることを促す</p> <p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p>		<p>まるごとまちごとハザードマップの設置 (阿賀野市・阿賀野川河川) ●</p>	<p>内外水一体型リスクマップの公表 (阿賀野川河川) ●</p>	
	<p>浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表 (新潟県)</p>			
	<p>洪水ハザードマップの更新、内水ハザードマップの作成・公表 (新潟市・阿賀町)</p>			
	<p>各種ハザードマップの周知、住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組 (新潟市・五泉市・阿賀町)</p>			
	<p>メール、SNS、Lアラート等を利用した住民への防災情報等の提供 (新潟市・五泉市・阿賀野市・新発田市・阿賀町・阿賀野川河川)</p>			
	<p>防災アプリの普及啓発による避難に必要な情報の周知 (阿賀町・新潟県)</p>			
	<p>防災メール等の利用者増加にむけた周知活動 (阿賀野市・新発田市・阿賀町)</p>			
	<p>避難場所や経路等に関する情報の周知 (気象・防災情報の提供) (五泉市)</p>			
	<p>河川監視カメラによる情報提供 (五泉市・新潟県・阿賀野川河川)</p>			
	<p>道路管理用カメラなどによる冠水状況等の情報取得方法の検討・検証 (新潟市)</p>			
	<p>気象情報の発表・充実、予報精度の向上 (気象台) / キキクル (危険度分布) の改善 (気象台)</p>			
	<p>雨量、水位、土砂災害危険度、土砂災害警戒区域等に関する情報の公開 (新潟県・阿賀野川河川)</p>			
	<p>ホームページにおける河川水位、ダム情報等の提供 (東北電力(株)・新潟県・阿賀野川河川)</p>			

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>②自分事と捉えることを促す</p> <p>◎教育活動 地域 個人 </p>	<p>町内会や自主防災組織等からの依頼による出前講座等の実施（新潟市・五泉市・阿賀野市・新発田市・阿賀町・阿賀野川河川）</p> <p>防災リーダー養成講座、地域防災研修の実施（五泉市・新発田市） ●</p>	<p>小中学校への防災教育、出前授業の実施（五泉市・阿賀野市・新発田市・阿賀町・新潟県・気象台・阿賀野川河川）</p> <p>●</p>	<p>●</p>	<p>●</p>
<p>◎訓練活動 地域 個人 </p>	<p>●</p> <p>住民参加型の地域防災訓練の実施（五泉市・阿賀野市・新発田市・阿賀町） ●</p>	<p>●</p>	<p>●</p>	<p>●</p>

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>③ 行動を誘発する</p> <p>◎計画策定 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進（新潟市・新発田市・阿賀町・新潟県）</p> <p>避難確保計画を策定した要配慮者利用施設等に対する避難訓練の支援（阿賀野市・阿賀町）</p> <p>マイ・タイムラインの作成および住民への周知（阿賀野市・新発田市）</p> <p>● 地域防災計画の見直し・更新（五泉市・阿賀町・気象台）</p> <p>流域タイムラインの策定・運用（新潟市・五泉市・阿賀野市・新発田市・新潟県・気象台・阿賀野川河川）</p>			
<p>◎水災害対策の支援 個人 </p>	<p>雨水浸透ます・貯留タンク設置への助成交付（新潟市）</p> <p>自主防災組織設立後、資機材整備や活動等に対し補助金を支給（新発田市）</p> <p>希望する市民への土のうの事前配布（新発田市・阿賀町）</p>			
<p>◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>水防団、消防団等との連絡体制の強化（新潟市・阿賀野市・阿賀町・気象台）</p> <p>出水期前の水防資機材等の点検（阿賀野市・阿賀野川河川）</p>			